

一級河川古新田川の改修計画

一級河川古新田川の改修計画

1. 古新田川の概要

一級河川の亀成川の左支川である古新田川については、狭く細長い谷地の間を流れる手賀沼土地改良事業の際に用排水路として直線的に整備された河川です。

平成 18 年度より改修着手を予定しています。



図-1 全体図

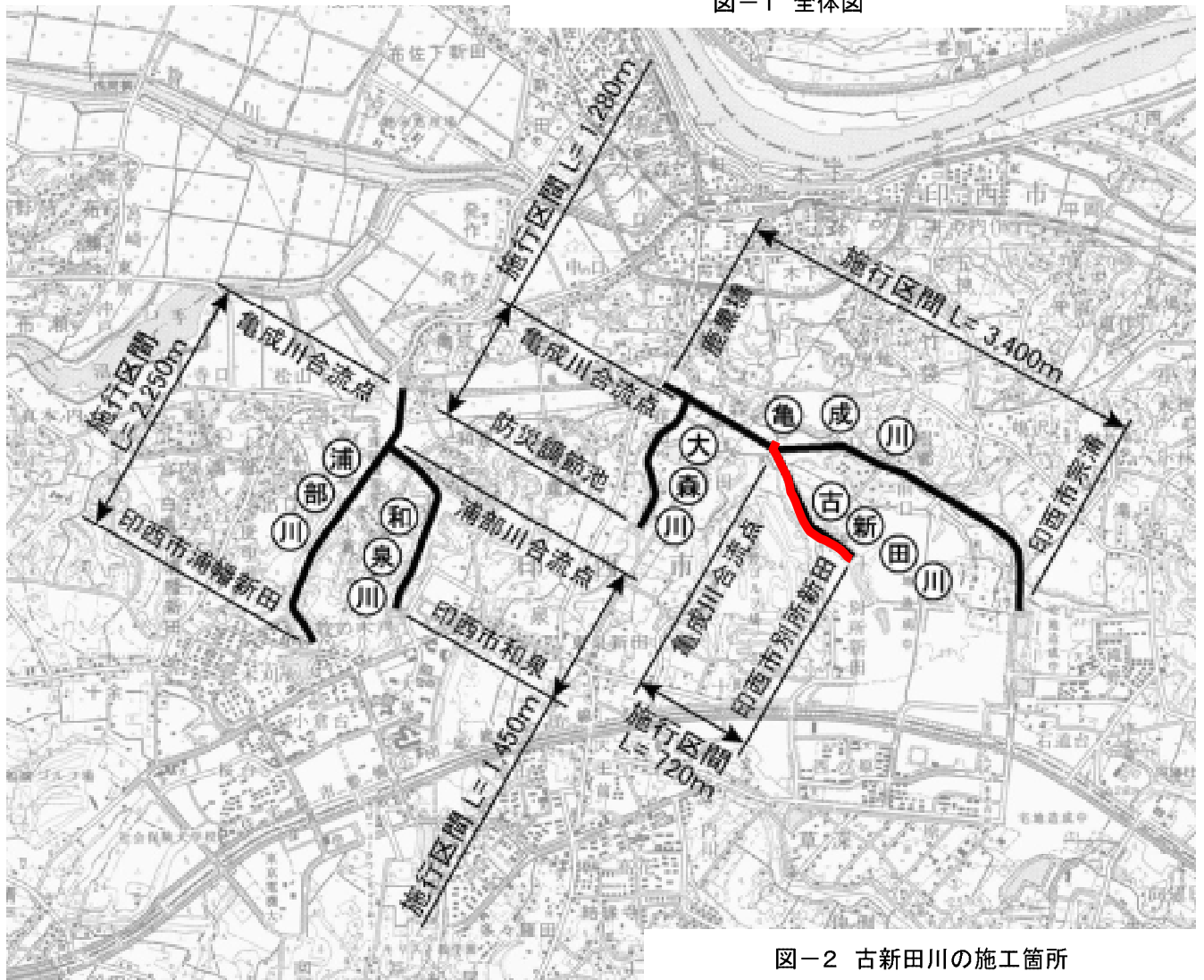


図-2 古新田川の施工箇所

2. 変更理由

現在の古新田川は、浸水被害は報告されていませんが、当該区域の上流台地で進められている千葉ニュータウンの降雨時の排水を受けることから河川改修が計画されています。

現在の古新田川の改修計画断面は、2割の緩傾斜堤防と両側の管理用通路を確保するという計画となっています。

一方、第2回の手賀沼部会において、委員から「亀成川とその支川についての改修

計画断面を画一的な2割の掘込み河道で改修する必要があるか。」というご意見を頂きました。これについては「学識経験者、地域住民の意見を聞きながら改修を行うこととし、一律2割勾配で画一的改修をする考えはありません。」という見解を示しています。

その後、当該地区の狭く細長い谷地を利用した土地改良事業の経緯や周辺での河川事業に関する地元交渉の状況も踏まえ、改修未着手の古新田川について、河川整備計画の変更案を作成しました。

なお、改修計画の変更に当たっては、土地改良事業の経過を踏まえ、その目的に配慮することとしました。また、谷地における土地利用の状況や現在の河川利用の状況を勘案し、最小限の用地取得とすることを優先し検討しました。



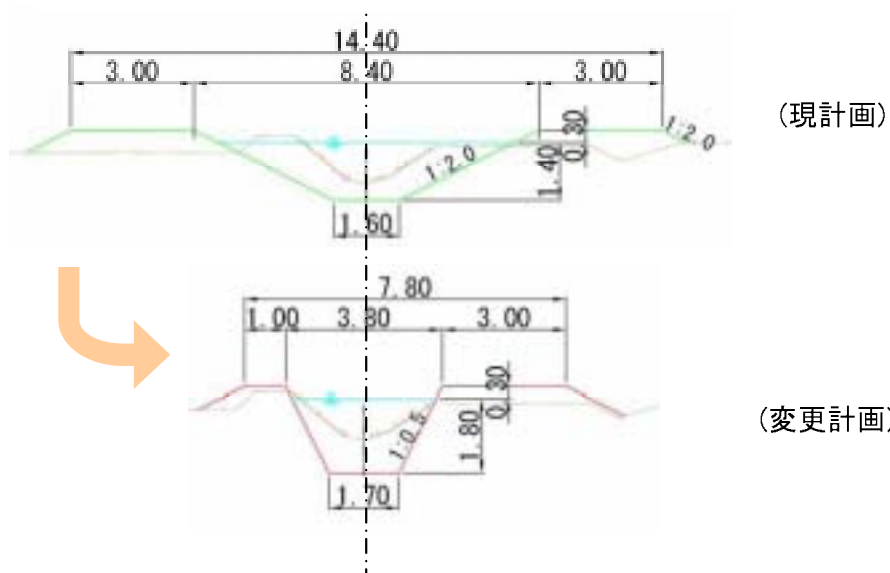
図-3 古新田川と周辺の土地利用の状況

3. 変更内容

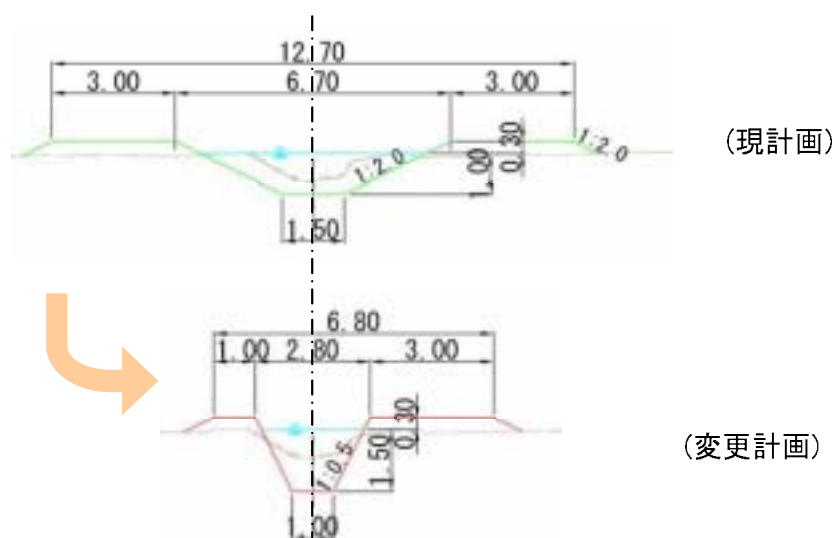
その結果、以下の点を変更しました。

- (1) 河川断面については、当初の2割勾配の土羽護岸から、5分の補強土工法による護岸構造とし、河川幅を小さくしました。
- (2) 河川幅が当初予定していた半分程度となったことから、河川管理上、片側からでも十分河川管理が行えるようになり、片側の管理用通路は車両乗り入れを考慮しない最低限の1m幅としました。

11m³/s (別所川合流点～亀成川合流点)



5m³/s (調節池洪水吐き～別所川合流点)



4. 改修後のイメージ



写真－1 現在の状況



写真－2 改修後のイメージ

※ 改修後のイメージ写真は、他の工事での写真を使用しており、河床には多少水深が得られるよう、工夫する予定です。

5. 今後の予定

今回の変更案については、当懇談会の意見とあわせ、平成 18 年度において開催予定の古新田川における地元説明会において説明し、提案のありましたご意見を総合的に勘案し、事業を実施することといたします。

なお、この結果については、次回の当懇談会において報告させていただきます。